

広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

6 月号

No.194 (R5.6.15)



目 次

会長コラム『柔しく剛く』愛する広島市歯科医師会のこれから	1 ページ
行事報告	
令和5年度 広島市学校保健会総会及び 第1回 理事会	3 ページ
令和5年度 広島市学校保健会 第1回 歯科保健対策委員会	3 ページ
支部だより	
中区支部	4 ページ
ちょっとイイ話	
休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	5 ページ
「よい義歯だめな義歯」と「よい義歯だめな義歯2」を読んで(学術部)	5 ページ
委員会旅行の記録(厚生部)	6 ページ
こども用歯磨き剤「Check-Up kodomo(チェック・アップコドモ A)」について(地域歯科保健部)	8 ページ
舌下免疫療法中の小児歯科治療について(地域歯科保健部)	8 ページ
各部からの報告	
～ハハ姉妹の学校ニュース《2 時間目》「あいうべ体操」～(地域歯科保健部)	9 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	10 ページ
YouTube(広報部)	12 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	13 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集	13 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	14 ページ
5月定例理事会報告	15 ページ
職員挨拶	16 ページ

平成17年に広島市歯科医師会情報管理部理事を拝命して以来18年間、本会一筋に会務に携わらせていただきました。

歴代会長からは、100年を超える本会歴史上の節目となるいくつかの事業の担当を仰せつかり、一生懸命取り組んだことを思い出します。

①個人情報保護法成立に伴う応能負担から定額会費への変更

理事になって最初に命じられた仕事でした。社保・国保診療報酬情報が入手できなくなり定額会費とせざるを得なくなったため、診療形態や終身会員であるかどうかによる会費額の検討を行い、現在の会費額を決定しました。

財政の検討に始まり、将来の会員数や年齢構成のシミュレーションを行い、特に終身会員比率の増加を始めとする本会基盤の抱える長期的問題を意識することとなりました。

②公益法人改革への対応

公益法人制度改革関連3法案が平成20年12月に施行されることをうけ、解散ないしは一般社団法人への移行か公益社団法人への移行を選択し、それに伴う定款変更や会計の一本化などの機構改革が必要となりました。

担当者を拝命し、特別委員会などでの協議を経て、平成25年4月に一般社団法人広島市歯科医師会に移行登記しました。

定款・諸規程をひとつずつ見直し、県の公益認定委員会と折衝する大変な作業でしたが、「歯科医師会は誰のために、また何のためにあるのか」という根源的問題を考えるきっかけとなりました。

③新会館建設と市歯会事務局移転への対応

平成29年、県歯会館の移転建て替えに際して、本会事務局移転の担当者としてまず行ったことは、過去の経緯を調べることでした。父から、市歯会会員が、大変な総会議論を経て他郡市会員より多額の費用負担をして県歯会館内に事務局を設置したこと、当初家賃の支払いはなかったものの、ある時期から支払いが始まったこと、などを聞いていたからで

す。

特別委員会での協議を経て、「新たな会員負担を求めない範囲内で、新会館内に区分買い取りで事務局を設置する」との方針を総会決議しました。

私が仕えた歴代会長は、新事務局設置のために十分な資金の引当をされていましたが、余裕を持った計画を立てるとともに、事務局移転後は次の会館建設に向けた引当を開始すべく、会館整備資金負担金の増額やしっかりとした資金計画を立てて、子供や孫の世代が困らぬよう特定資産への引当の仕組みを作りました。

★広島市歯科医師会の課題★

これらの経験を通じて、広島市歯科医師会の課題について、思うところを記してみます。

①財務体質のさらなる強化

先日行われた広島市歯科医師会令和4年度会計監査において、税理士でもある篠原外部監事から、「引き続き良好な財務状況。コロナの回復に伴い、適切に事業も再開されているように感じる」と、昨年に引き続きお褒めの言葉をいただきました。

正味財産増減計算書における経常増減額は320万円余の黒字となり、不動産等の固定資産を含む本会の正味財産合計は2億5,200万円余となりました。

私が会長に就任した当時の正味財産合計は、2億1,700万円弱でしたので、私の在任期間で正味財産は3,500万円余増えたこととなります。

会館の維持や将来の会館建設のための引当も順調に増やすことができました。入会金を減額し、その分を会館整備資金負担金に回すことに加え、計画的な積立等を行い、会館維持償却引当基金は期末残高で5,200万円余となりました。40年後に2億円という目標(6年経過)からすると早すぎるペースにも思えますが、会館建設から6年がたち、そろそろ修繕などの経費もかかることが予想されます。しっかりとした備えが必要だと考えていますので、妥当なペースであると考えています。

会長コラム (第47回)

柔しく剛く

愛する広島市歯科医師会のこれから
熊谷 宏

最終回

一方、会員からの会費収入は減少傾向にあります。平成30年度決算における会員会費収入は、2,000万円余でしたが、令和4年度決算では1,900万円弱となっています。この原因は、会員数の減少と高齢化です。会員数は平成31年度末の436人から、426人と10人減少しました。特に会員の高齢化は深刻で、会員に占める会費減額対象である終身会員の割合は増え続けており、今後もその傾向は続くものと思われます。

受取負担金についてもう一点の課題は、入会金です。広島県内の多くの郡市地区歯科医師会の入会金は100万円台です(本会は120万円)。かつて入会金は、新規参入をさせないための障壁と位置づけられた時代がありましたが、歯科界を代表し、市民のおくちの健康をまもる公益事業を行う組織の入会金が100万円を超えることがふさわしいとは言えません。

かつてのような開業=入会という図式が成り立たない現状で、開業に対する投資に加わる入会金負担を下げることは、組織率を上げるためにも検討すべき課題です。

しかしながら、平均して毎年6~7名程度の入会者がある本会において、入会金収入は大きな財源であるのも事実であり、私の任期中でその検討をすることができませんでした。中期的課題として次世代に託したいと思います。

財務については長期的視野で考えなければなりません。入会金や会費の検討は必要ですが、私は会の総収入(経常収益)に対する会員負担金(入会金・会費)の比率を減らしていくこ

とが必要だと思っています。

そのためには、補助金等の確保への努力と収益事業の充実が必要で、行政からの補助金をしっかりと確保しないとけません。先生方に口腔外バキュームをお届けした「歯科診療所における口腔外バキューム整備促進事業」、YouTube動画「不安な歯医者」の制作及び先生方にN95マスクをお届けした「広島は決して屈しない！プロジェクト」からの補助金取得は、行政の動きにアンテナを張り続け、躊躇の無い要望をし続けた努力が実を結びました。

最も重要なのが収益事業の充実です。平成25年度に始まった「学校歯科健診歯鏡等滅菌配送事業」は大きな収益をもたらしました。しかし、行政への入札事業ですので、100%安定的な収益とは言えない部分もあります。公益目的の新たな収益事業の創設を検討していきたいものです。

②公益法人への移行について

現在一般社団法人である本会ですが、平成22年10月の第101回臨時総会において「将来的には公益社団法人を目指すという立場を堅持するが、まずは一般社団法人へ移行申請する」旨を議決しています。

担当責任者として知識ゼロから勉強した立場から、現状では一般社団法人のままが良いと思います。公益目的の新たな収益事業の創設が実現した時が、公益法人への移行のタイミングとなると考えます。

③公衆衛生事業について

本年4月号の本コラムで述べましたが、国民皆歯科健診という言葉がクローズアップされています。この実現のために最終的には、「労働安全衛生法(労働安全衛生規則)」などの実施法の改正が必要です。

しかし同時に、国民のライフステージにおける歯科健診において、対象年齢の拡大、健診回数が増加、新たな歯科健診項目の追加などの実績を積み重ねていくことが大切です。その意味で、郡市地区歯科医師会の役割が重要となります。

具体的には、節目年齢歯科健診の対象年齢の拡大、学校における教職員への歯科健診実施など、地域での

実績を積み上げていかなければなりません。

健診だけでなく、オーラルフレイル対策も極めて重要です。すべての地域歯科保健活動を地道に続けていく必要があります。

学校健診について、広島市歯科医師会では昭和38年より「全員校医制」を採用しています。この制度は、「児童生徒が、口腔保健に関する情報の質および機会を公平に受けることができる」ために、「会員全員で学校歯科保健活動に参加」することと、「学校歯科医手当等を本会が管理し学校歯科保健対策と会員福祉の両面に有機的に運用すること」を柱としています。

学校歯科保健の現場で喫緊の課題は、校医の不足です。特に東区などは、学校数に比して会員数が少ないことから、学校近隣の校医確保が難しくなっています。現在、市立学校の校医は原則一人一校としていますが、その見直しも視野に入りますが、そろそろ来るのではないかと考えています。

また、校医の責任感の醸成などの観点からも、学校歯科医手当の配分も検討課題になると思っています。

④若手の会務参加

私が会長に就任した際に、理事会メンバーを一新し若い先生方を登用しました。皆さん4年間本当によくやってくれました。しかし、若い先生方は開業当初から厳しい歯科医療環境にさらされています。多額の借金を返しながら、会務をお願いすることには心苦しい思いをしていました。

私は、会務は本来ボランティアであるべきだとずっと考えてきました。しかし、仕事を犠牲にして会務に取り組む若い先生方を見ると、ある程度の対価が必要なのではないか、それでない若手の会務参加は現実的に難しいのではないかと感じるようになってきました。

過去においては、本会も含めて、報酬の変わりに飲食の供与がありました。私は、「診療を犠牲にして会務をしているのだから、多少の飲食は許される」という考え方に断固反対

し、対外組織との懇親等妥当性のあるもの以外は厳密に運用してきました。

財務の観点から妥当適切な役員・委員報酬のあり方を検討する時期になっていると思います。

⑤広域合併について

私達は、行政区域と歯科医師会区域の一致が市民サービスの観点で重要であることから、広域合併を訴えてきました。

しかし、本会を含めそれぞれの歯科医師会には歴史があり、広域合併＝広島市歯への吸収という負のイメージが、総論賛成・各論反対に結びついていると思われます。

私は、この問題を早期に改善しようとする前に、本会を含む4地区歯科医師会の信頼関係の醸成が肝要だと考え、広島市歯科医療福祉対策協議会や広島市の各種健診などを通じて3地区歯科医師会との関係改善に努めてきました。現在はこれまでに最も良好な関係を構築できていると自負しています。

もし4地区歯科医師会の合併が成立すると、広島県歯科医師会に、その会員数の半数に及ぶ郡市地区歯科医師会ができることとなります。

さまざまな観点から、時間をかけてあるべき姿を協議していく必要があります。

★おわりに★

以上、会長退任に当たり、執行部での月日を思い出しながら徒然に広島市歯科医師会への思いを書き連ねてみました。

2期4年間、コロナ対応に追われ、本来お約束した事項を実現できなかったことを会員の先生方にお詫び申し上げます。

今後は、経験を積んだ若い世代がしっかりと引き継いでくれるものと信じています。次期執行部に対して、先生方のこれまで同様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。会長コラム「柔しく剛く」の筆を置かせていただきます。本当にありがとうございます。

行事報告

令和5年度 広島市学校保健会総会及び 第1回 理事会

日時：5月16日(火)

午後7時 令和5年度「総会」

午後7時40分 令和5年度「第1回理事会」

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

総会では令和4年度事業報告及び決算報告、監査報告、役員改選、令和5年度事業計画(案)及び予算(案)についての協議が行われ、全て承認された。また、令和5年度広島市学校保健大会について、概ねコロナ禍前の形式で開催されることが発表され、総会は終了となった。引き続き開催された理事会では、今年度の普及振興事業(学校保健功労者及び学校保健推進学校表彰等)、共催・後援事業(第63回広島市学校保健大会について)及び協賛(第63回広島市学校保健大会への協賛について)について協議し、全て承認された。

本会は本市における学校保健の進展に貢献すべく、広島市学校保健会の事業に積極的に協力していくことにしている。7月に第2回会議を開催し、本年の被表彰児

童・学校を決定する。なお、本会から熊谷宏会長、石田一輝理事、濱岡代枝地域歯科保健部副委員長が出席した。



熊谷宏会長の挨拶

令和5年度 広島市学校保健会 第1回 歯科保健対策委員会

日時：5月25日(木)午後7時15分

場所：中区役所 7階「第2会議室」

広島市域4歯科医師会、学校及び教育委員会の健康教育担当者などを集め標記の会が開催された。本会より熊谷宏会長、石田一輝理事、濱岡代枝地域歯科保健部副委員長、尾山奈々子同委員が出席した。

会議の冒頭で、同委員会委員長を務める熊谷会長は、関係各位に対し深く謝辞を述べ、引き続き歯科医師会と学校が協働して広島市の子どもたちの健康づくりを目指すとの基本方針を示した。続いて協議に移り、石田理事の進行で主に以下の項目を扱った。

- (1) 令和4・5年度研究テーマ及び研究内容について
- (2) 広島市学校保健大会の役割分担等について
- (3) 定期健康診断等におけるコロナの影響に関する情報交換
- (4) その他

各項目について活発な議論、情報交換を行った。また、教育委員会より、保健調査票の項目の刷新が予定されていることが発表された。こちらに関しては今後も引き続き注視する必要があるものと思われる。第2回の開催が9~10月を予定していることが発表され閉会した。



熊谷宏会長の挨拶

支部だより

中区支部

令和5年度 広島市歯科医師会中区支部幹部役員会

日時：5月12日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記の会が開催された。

開会の挨拶の後、報告事項においては、波田佳範支部長より令和4年度の事業報告、平田誠会計担当役員より令和4年度の会計収支報告が行われた。

引き続き、協議事項においては、波田支部長より令和5年度の事業(案)、平田役員より令和5年度の予算(案)が出され、その後、出席幹部役員より活発な意見交換が行われ、中区支部総会への上程に向けての詳細を詰めてい

った。その内容は、過去3年間新型コロナウイルス感染症により、様々な支部行事等が中止になったが、今年の5月8日(月)を以て、感染症法上の位置づけが2類から5類へと引き下げられたことを受け、様々な活動が可能となり、それに対する予算の配分等が協議された。

なお、この会議には、波田佳範支部長、香川次郎副支部長、有田一喜氏、尾山奈々子氏、小松大造氏、橋本佳子氏、花木清隆氏、平田誠氏が出席した。

広島市吉島地域包括支援センター主催「介護予防教室」

日時：5月17日(水)午前10時

場所：「順正寺こども園」

標記の教室が開催され、辰本将哉中区支部会員が「オーラルフレイルと口腔ケア」と題して地域住民14名に講演を行った。講演では広島県民の平均寿命が全国的に長い割に、健康寿命が短く、介護生活が他県に比べ長いことを示した。他県との違いのひとつに健診の受診率が低いことを挙げ、節目年齢歯科健診や後期高齢者歯科健診を紹介した。

健康状態からプレフレイル、フレイル、要介護と段階を経て進行していく中、要介護になってから介入するよりも、プレフレイルやフレイルの段階で早期発見・早期治療・予防が大切であることを説明した。

口腔ケアはフレイルやオーラルフレイルに対して効果的であることを説明し、ブラッシング以外のセルフケア

として、パタカラ運動や唾液腺マッサージを紹介した。最後に口腔に関する質問が会場から寄せられ、丁寧に説明して講演を終了した。今後も本会を通じて地域活動を続けていく所存である。



講演の様子

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にしていただけたら幸いです。

- ・ 歯の打撲のケースで、レセプト病名を Stom とつけるなど、実際の診療と乖離した病名がみられました。実態に即した病名を付けていただくようお願い致します。
- ・ 暫間充填をしているのにう蝕処置(18点)の算定がないものがありました。う蝕処置は、軟化象牙質の除去や暫間充填時に算定可能ですので算定漏れがないようにお願いします。

(森本 慎樹)

学術部

「よい義歯だめな義歯」と「よい義歯だめな義歯2」を読んで

「よい義歯だめな義歯」と「よい義歯だめな義歯2」を購入しました。先の本は鈴木哲也先生による著作です。そして「2」の方は鈴木哲也先生と古屋純一先生による共同著作です。覚えている方も多いと存じますが、昨年11月にホワイトクロスで古屋純一先生のライブ講演会がありました。講演のタイトルは「古屋純一の『やっぱり』よい義歯だめな義歯」で、講演中に演者が薦めていた本です。

古屋先生が講演中に「今の義歯はほとんどが難症例です」と仰っていました。大学で教わった総義歯学は早期に抜歯を行っていた時代のもので、顎堤が顎堤と呼べるだけ形を残していました。ただ、今は時代が進んで、患者さんからの要望は「なるべく歯は抜きたくない」となり、歯科医師もなるべく歯を抜かないで歯周病治療をするようになりました。古屋先生が講演中に仰っていましたが、その結果としてえぐれた形の顎堤になっていきました。

「よい義歯だめな義歯」は顎堤が吸収した難症例へのアプローチとして書かれた一冊です。チャプター1は現代の無歯顎症例像についてで、難症例になってしまった総義歯や顎堤吸収の話です。それらを踏まえた上でチャプター2では上顎義歯への戦略、チャプター3では下顎義歯への戦略が記載されています。口腔内写真が多く、更には吸収された顎骨のCT像が多く掲載されているので、吸収が進んだ骨の様子がとてもよく分かり、外形線の意味も立体的に理解しやすくなっています。そしてチャプター4は実践：義歯の装着と調整の鉄則で、普段の義歯調整にも役立つ内容が含まれています。

次は「よい義歯だめな義歯2」です。この本より古屋純一先生が共同著者に加わっています。ナンバリングされているだけあって、「2」は先の本を読んでいる前提で話が進みます。本書においても前提となる症例は、骨吸収が進んだ顎堤で、主なテーマは咬合採得と咬合調整、更に人工歯配列の話も含まれており、内容は更に高度なものになっています。当書はチャプター毎に分かれているのですが、それぞれのチャプターは一貫して咬合採得と人工歯配列についての記載で、ここでの細かい紹介は割愛します。また、高度な難易度症例へのアプローチや訪問診療での義歯との向き合い方なども語られており、総義歯に関して幅広い知識が得られます。

最後に私が読んでみた感想です。講演内容に感銘を受けて購入した本だったので、内容は満足のいくものでした。

無歯顎補綴へのモチベーションが高まる本でもありました。因みに演者である古屋純一先生は「2」の著作に携わっています。「よい義歯だめな義歯」の内容を把握していることが前提の本ですので「よい義歯だめな義歯」を読んでみて、「2」の購入を検討した方が良いと思います。

<参考文献>

「よい義歯だめな義歯」鈴木哲也著,167頁,定価本体9,600円(税別),クインテッセンス出版

「よい義歯だめな義歯2」鈴木哲也/古屋純一著,180頁,定価11,000円(税別),クインテッセンス出版

(小早川 尚史)

厚生部

4年前、熊谷宏会長の新体制の下、歯科医師会会員の福利厚生を考える部として新設されたのが我々厚生部でした。しかし、コロナ禍において行動制限がされる中、当初の目的を達することはできませんでした。それでも昨年末には2年ぶりのクリスマスパーティーを再開させ、1月には新年互礼会も開催することができました。

今年はより一層、会員とその家族、スタッフの親睦を深め、会の存在意義の一つを担うべく活動してまいりたい所存でございます。こんな企画がほしい！など要望がありましたら、どしどしリクエストお願い致します！

そんな厚生部が熊谷会長の任期を終えるという一つの節目として、委員会旅行に行って参りました。そんな皆生温泉、出雲大社を巡る1泊2日の珍道中についてお話しさせていただきます。

令和5年3月25日(土)13時、歯科医師会館に集まり、ささき観光さんのミニバスにおつまみとお酒を持ち込み大人の遠足のスタートとなりました！バスに揺られながらのお酒ということもあり、簡単に酔いが回ってしまいました。特に委員を労ってくれた谷理事はいつも以上に酔っておられ、途中から泥酔してしまいました(笑)。



出発前のハイテンションのメンバー

15時、最初の目的地である足立美術館に到着しました。こちらの庭園は世界的に有名な日本庭園であり、四季折々の表情をまるで絵画のように見せる視覚操作は圧巻でした。その他にも所蔵されている魯山人や横山大観などの作品を一気に鑑賞することができ、とても有意義な時間となりました。しかし、酔っ払っている谷理事を2人がかりで両肩を抱えながらの鑑賞は大変ハードでありました(笑)。



足立美術館の日本庭園にて

その後、予定通り皆生温泉に到着、まずは疲れを温泉で癒やしました。温泉はナトリウム、カルシウム塩化物泉であり神経痛やリウマチ、皮膚病などに効果が効能のあるとのこと。酔っ払っていた谷理事は土屋委員長の手



皆生温泉での蟹のフルコース

により早々に脱衣場へと連れ出されておりました(笑)。お風呂の後は皆生の名物蟹のフルコースとなりました、突き出しから刺身、天ぷら、焼き蟹とこれでもかと言うくらい美味しい蟹を頂きました。谷理事も食事はしっかりと食べられておりました。

次の日は朝からバスに乗り海鮮市場に向かいました。市場では採れたての海産物をその場で食べることができ、我々も生岩牡蠣などを頂きました。広島市の牡蠣と比べてとても大きく、食べ応えがありました。その後この度の一番の目的地である出雲大社にお参りいたしました。社殿と参道、立ち並ぶ植物の美しさと荘厳さに圧倒され、身も心も浄化されました。桜も満開でとても美しい景色に恵まれました。



生牡蠣を食べる
土屋崇文委員長

帰り際に最後の観光地、日御碕灯台を訪れました。設置は明治 36 年日本一の高さを誇る石造灯台です。163 段の螺旋階段を上ったところは日本海を臨む絶景のパノラマがありました。

しかし、高所恐怖症の谷理事と土屋委員長は展望台に出ることができず、登り切ったもののそのままリターンされました。

その後灯台近くの茶店で海鮮丼を頂き山陰の海産物に舌鼓を打ち、バスにて帰路に付きました。



出雲大社にて

今回の旅行はささき観光さんのバスをチャーターした事で道中も気兼ねなくお酒も飲み、ただただメンバーの親交を深めるご褒美旅行となりました。

この 4 年間、厚生部員 7 人は会員の皆様の福利厚生を高めるために知恵を絞り出し、論じ合ってきました。しかし、まだまだ足りない部分があると思います、是非とも良い案がありましたら厚生部にお教えてください。これからも皆様にとって歯科医師会という組織が少しでも楽しく居心地の良いものとなるよう、頑張っまいますのでよろしく願いいたします。



ひのみさきパネルでの
横村委員と柄委員

ちなみに谷理事は旅行初日の記憶はほとんどなく、大変後悔されておりました。しかし、それだけ心を許せる仲間との旅だったと言ってくださいました。

(小島 将督)



日御碕灯台にて

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより 1 ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

こども用歯磨き剤「Check-Up kodomo(チェック・アップコドモ A)」について

ライオン歯科材株式会社の製品であるこども用歯磨き剤「Check-Up kodomo(チェック・アップコドモ A)」に関して、ご愛用なさっておられる先生方も多いかと思われまます。この度、使用後にアナフィラキシーを発現したとされる症例が、令和4年12月から令和5年5月の間に3例報告されました。現時点では、本製品の使用とアナフィラキシーの発現の因果関係は明らかではありませんが、報告された3例はすべてアレルギー等の既往がある患者における症例であるため、ご使用の際には既往歴の確認を徹底するようお願いいたします。



(別紙)

チェック・アップコドモ A 使用後にアナフィラキシーを発現した症例のラインリスト

	製品名	年齢	転帰	既往歴等
1	チェック・アップコドモ Ab (ストロベリー味)	4歳	回復	食物アレルギー (牛乳・鶏卵)、アトピー性皮膚炎、急性肺炎
2	チェック・アップコドモ Aa (グレープ味)	9歳	回復	食物アレルギー (鶏卵、山芋、クルミ、ピーカンナッツ)、副作用歴 (サワシリンによる多形紅斑)
3	チェック・アップコドモ Aa (グレープ味)	7歳	回復	喘息

厚生労働省：[001098618.pdf \(mhlw.go.jp\)](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/shingi2_001098618.pdf)

ライオン歯科材株式会社：[こども用歯磨き剤「Check Up kodomo チェック・アップコドモ A」の安全性に関する情報とお願い \(lion-dent.com\)](https://www.lion-dent.com/jp/child-toothpaste-check-up-kodomo-a-safety)



(石田 一輝)

舌下免疫療法中の小児歯科治療について

昨今、舌下免疫療法中における抜歯等の観血処置時に副作用が生じる可能性があることが話題となっていますが、5月18日に日本小児歯科学会よりアナウンスがありましたので報告します(以下概要)。

スギ花粉やダニアレルギーの小児に対して、「シダキュア®スギ花粉舌下錠」や「ミティキュア®ダニ舌下錠」が用いられています。適応年齢は5歳以上で、治療は長期間行われます。舌下免疫療法中の小児が歯科治療を受ける機会がある際、抜歯をはじめとする観血処置後や開放創、ならびに口内炎や口腔内に強い炎症症状がある場合に、薬剤の投与によって出血や局所の炎症が持続する可能性があります。シダキュア®およびミティキュア®の添付文書には、重要な基本的注意事項として「抜歯後等口腔内の術後又は口腔内に傷や炎症等がある場合は、口腔内の状態を十分観察し、本剤投与の可否を判断すること。」とされています(同様の注意喚起は海外でもなされています)。



ただ、これまで薬剤の服用によって窒息を含めた死亡例の報告はなく、歯科治療後に重篤な症状が発症したという報告はありません。以上から、免疫療法中の小児に抜歯などの歯科治療を行う場合、必ずしも休薬を行う必要はありませんが、抜歯後または口腔内に傷や炎症がある場合は、保護者様からシダキュア等の薬剤の服用についてかかりつけ医に相談していただくと良いでしょう。

[日本小児歯科学会](https://www.jspd.or.jp) | 「舌下免疫療法中の小児歯科治療について」を公開しました。(jspd.or.jp)



(石田 一輝)

各部からの報告

地域歯科保健部

～ハハ姉妹の学校ニュース《2時間目》「あいうべ体操」～

あいうべ体操

デジタル版《2時間目》
広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

「あいうべ体操」は福岡市のみらいクリニック院長、今井一彰先生が考案された、口呼吸を鼻呼吸へと改善させるためのトレーニング方法です。
この体操をすると、口を閉じたときに舌が上あご（口の中の天井）につき、正しい位置に戻り、自然に鼻呼吸がしやすくなります。

次の四つの動作を順に繰り返します。
声は出さなくてもかまいません。
1セット5秒で10セット



①「あ」と口を大きく開く
②「い」と口を大きく横に広げる
③「う」と口を強く前に突き出す
④「べ」と舌を突き出して下に伸ばす

①～④を1セットとし、1日30セットを目安に毎日続ける。

鼻は空気中のばい菌やウイルスを取り除くフィルターの役割をしています。口呼吸ではそれらが取り除かれず体内に入ってしまうため、病気になりやすくなります。また口呼吸はだ液のはたらきを弱めてしまい、むしばになりやすくなってしまいます。

歯医者さんからのメッセージ
だ液の中にははたらいてくれる免疫物質がたくさん含まれています。口呼吸をするとお口が乾燥し、だ液のはたらきが悪くなってしまいます。あいうべ体操を習慣づけてだ液のはたらきを助け、8020を目指しましょう。

光山素夫先生

8020
80歳になっても
20本以上自分の
歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変ください。

※今回は地域歯科保健部光山素夫先生が作成いたしました。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼歯科外来の「セフェム系抗菌薬」の処方量が著明に減少 東京医科歯科大学



WHITE CROSS (2023年5月16日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2705>

東京医科歯科大学は5月15日、薬剤師による継続的な抗菌薬適正使用プロジェクトが、削減が求められていた経口第3世代セフェム系抗菌薬の処方を、著名に減少させたことを発表した。

歯科における抗菌薬適正使用プログラムに関して、日本からの査読論文への報告は初めてであり、歯科診療における抗菌薬選択の改善に貢献した。

出典：[薬剤師による抗菌薬適正使用プログラム導入による歯科外来における内服抗菌薬処方の変化](#) (東京医科歯科大学)

▼「歯科で働く人のためのEQ講座」第2回 「こころの賢さEQを高めるには?!」



WHITE CROSS (2023年5月16日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2672>

この記事のポイント

- ・EQ(こころの賢さ)は先天的な要素が少なく、訓練することで後天的に鍛えることができる能力。
- ・「意識する→やってみる→繰り返す」ことでEQは開発される。
- ・自分の感情コントロールに困ったら「感情メモ」を記録することで、つい忘れがちな大切なことに気づくことができる。

▼物価高騰・賃上げに対し政府へ財政措置を求める 三師会が合同声明



WHITE CROSS (2023年5月16日)

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2701>

ニュースピックアップ

▼コロナ「全数把握」に代わる「定点把握」毎週金曜日発表へ



NHK NEWS WEB 2023年4月28日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230428/k10014051561000.html>

新型コロナウイルスの5類移行後、厚生労働省は指定した医療機関が報告する「定点把握」に変更したあとの感染者数の公表について、1週間分をまとめて翌週の金曜日に公表するというスケジュールを示しました。毎日の感染者数などの発表は5月8日が最後で、「定点把握」での最初の発表は5月19日になる予定です。

◎「定点把握」は、季節性インフルエンザと同じ全国5000の医療機関が感染者数を報告するもので、今後の動きに注

この記事のポイント

- ・日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会の三師会が合同声明を発表した。
- ・岸田総理の発言した賃上げには対応できず、政府に対して何らかの財政措置をとるように訴えた。
- ・日本歯科医師会の堀憲朗氏は、物価高騰による歯科医療業界の厳しい状況を説明した。

▼ビタミンDサプリメントを摂取すると癌の死亡率は12%減少する 国際共同研究による10万人のデータ解析で明らかに



時事メディカル(2023年5月9日)

<https://medical.jiji.com/topics/3039>

東京慈恵会医科大学分子疫学研究部浦島充佳教授らは、ドイツの癌研究センター、アメリカのハーバード大学やラホヤアレルギー免疫研究所、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、フィンランド、オーストラリア、ニュージーランドなどとの国際共同研究により二重盲検ランダム化プラセボ比較試験に参加した10万人のデータをメタ解析し、ビタミンDサプリメントの連日内服により癌種に関係なく癌死亡率が12%減少していたことを明らかにしました。本メタ解析には浦島教授らの実施したアマテラス試験も含まれます。

< ポイント >

- ビタミンDサプリメントの連日内服により癌種に関係なく癌死亡率が12%減少した
- 70歳以上の場合には癌死亡率が17%減少し、高齢者で特に有効だった
- 癌の発症前から連日で内服していた場合は13%、発症後でも11%の癌死を予防した
- 連日の内服は有効だったが、月1回の大量内服では無効だった

意が必要と思われます。

▼新型コロナ、インフル同等扱いに8日、「5類」移行—国内初確認から3年余



JIJ.COM 2023年5月8日

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2023050700221&g=soc>

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが8日、これまでの「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行した。これにより、行動制限に関する法的根拠がなくなり、感染対策は個人の判断に委ねられるようになった。

◎5月8日からは、感染対策に関する全てのことが「個人の判断」に委ねられるようになったため、自身の重症化リスクを評価した上でワクチン接種について検討し、流行状況を適切に把握して流行時にはマスク着用や外出の自粛を一人一人が判断していくことが求められています。

▼米、RS ウイルスワクチンを世界初承認＝高齢者対象に英グラクソ開発

時事メディカル 2023年5月4日

<https://medical.jiji.com/news/56734>



【ニューヨーク時事】米食品医薬品局(FDA)は3日、RSウイルスを原因とする呼吸器感染症の予防を目的に、英製薬大手グラクソ・スミスクラインが60歳以上の高齢者を対象に開発したRSウイルスワクチンを承認したと発表した。同社によると、RSウイルス感染症対策のワクチンが承認されたのは世界で初めて。

◎日本でも厚生労働省に承認を申請したようです。RSウイルス感染症による肺炎が少しでも減ることを願います。

▼エタノール蒸気吸入で感染抑制＝インフルエンザ、マウスで実験＝新型コロナにも期待・沖縄科技大

時事メディカル 2023年4月27日

<https://medical.jiji.com/news/56591>



A型インフルエンザウイルスに感染したマウスに低濃度のエタノール蒸気を吸入させると、重症化を防ぐ効果があったと、沖縄科学技術大学院大の石川裕規准教授や新竹積教授らが27日発表した。吸入時の濃度は4%だが、気道の細胞表面を覆う液体中では20%に高まり、ウイルスを不活化して感染の拡大を抑えるという。

◎面白い研究ですが、下戸の人にも応用できるのでしょうか。今後に期待しましょう。

▼マイナ保険証に別人情報ひも付け7312件…5件で個人情報が見えさる

yomiDr. 2023年5月13日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230512-0YT1T50320/?catname=news-kaisetsu_news



マイナンバーカードと一体化した健康保険証(マイナ保険証)に、誤って他人の情報がひも付けされたケースが2021年10月～22年11月に7312件確認されていたことが分かった。

◎マイナンバーカードに情報を紐づけると、とても便利になりますが、セキュリティや紐づけるにあたっての技術的な問題がまだあるのではないのでしょうか。

▼双極性障害 診断されるまでに平均4～10年…うつ病と診断されることもあるのはなぜ？

yomiDr. 2023年5月13日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230417-0YTET50012/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai



コミックエッセー「夫婦で心を病みましたー優しい夫が双極性障害を発症したあの日から」(KADOKAWA)は、作者の彩原ゆずさんの夫が、双極性障害(そううつ病)になったこと

をテーマにした作品です。

◎うつ病は私たちの身近にある病気ですが、そもそもうつ病の診断が間違っていたら治療自体がおそくなってしまいます。判断が難しいとはいえ症状の改善が望めない場合はなるべく早く医者に伝えることが重要です。

▼五月病、2人に1人以上が経験 会社員対象の民間調査

47NEWS 2023年5月9日

<https://www.47news.jp/-/covid/9300475.html>



会社員や公務員の2人に1人以上が「五月病」を経験。ソフトバンクの子会社ヘルスケアテクノロジーズ(東京)の調査で、こうした傾向が分かった。

◎五月病の主訴には、不眠、疲労感、食欲不振、やる気が出ない、人との関わりが億劫、などが挙げられます。五月病の予防策としては、大きな原因であるストレスを溜め込まないようにすることが大切とのことですが、なかなか思うようにはいかないですね。みなさんや周りの方は、大丈夫だったでしょうか？

▼生活保護申請 過去2番目の増加率 2月は全国で1万9321件

NHK NEWS WEB 2023年5月10日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230510/k10014062761000.html>



ことし2月の生活保護の申請件数は全国で1万9321件と去年2月に比べて20%余り増え、増加率は比較できる2012年以降で2番目に大きくなりました。

◎新型コロナウイルス感染拡大で、最初の緊急事態宣言が出され雇用情勢が悪化した2020年4月に次ぐ2番目の増加率となったようです。厚生労働省によると、新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化や、物価高を含めた経済情勢が原因とみられるそうです。

▼“国の借金” 過去最大1270兆円余 財政状況が一段と厳しく

NHK NEWS WEB 2023年5月10日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230510/k10014062971000.html>



国債や借入金などを合わせた政府の債務、いわゆる“国の借金”は、ことし3月末の時点で1270兆円あまりと過去最大を更新し、財政状況は一段と厳しくなっています。

◎“国の借金”は7年連続で過去最大を更新したようです。背景には、医療や介護、年金などの社会保障費が膨らんだことに加え、新型コロナウイルス感染症や物価高騰対策などとして、巨額の補正予算や予備費が計上されたことがあるようです。

▼文化庁、京都で本格稼働 事実上の2拠点体制に

KYODO 2023年5月15日

<https://nordot.app/1030575860289830983>



文化庁は15日、東京・霞が関から移転した京都市上京区の新庁舎で業務開始式を開いて本格稼働した。本庁機能を地方に移した唯一の中央省庁となるが、ほぼ半数の部署は東京に残り、移転部署でも京都と東京を行き来して業務をする職員がいるため、事実上の2拠点体制となった。

◎政府機関の地方移転は、地方創生の目玉政策として平成26年に打ち出されたが、中央省庁では、消費者庁や総務省統計局が一部業務の拠点を移すにとどまっていた。明治以来、中央省庁が本庁を地方に移すのは今回が初めてであり、東京一極集中是正に向けたモデルケースとなれるのかについての真価が問われています。

▼マック、マスク従業員判断 8日、アクリル板も撤去

THE SANKEI NEWS 2023年5月2日

<https://www.sankei.com/article/20230502-PA07P5KHKBXJXILEC07GARMRRE/>

日本マクドナルドは2日、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが8日から5類に引き下げられるのに合わせ、現状着用している従業員のマスクについて個人の判断に委ねると発表した。飛沫を防止するためのアクリル板の設置も終了する。

◎先日マクドナルドに行きましたが、従業員が全員マスク



をしていました。脱マスクへの動きが加速していますが、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではないので、完全に脱マスクとなるのは、まだまだ時間がかかるかと思います。完全な脱マスクとなる日が早く訪れることを望みます。

▼G7 広島サミット 招待国と共同で食料問題の成果文書発表へ調整

NHK NEWS WEB 2023年5月12日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230512/k10014064571000.html>

G7 広島サミットで、政府は首脳宣言とは別に、インドなどの招待国と共同で食料問題に関する成果文書を発表する方向で調整を進めています。

◎G7 広島サミットには、インドをはじめ、8か国の首脳も招待されていて、G7 首脳との拡大会合が開かれ、ウクライナの農業再建や国際社会の食糧供給問題での検討が行われ、成果が期待されています。



【公式】広島市歯科医師会広報チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。

4月5日放送分

「お口の健康と健康寿命の関係」

広島市歯科医師会 八谷文貴氏

<https://youtu.be/Xuu8Ye55rBo>



4月19日放送分

「マウスガードの役割」

広島市歯科医師会 土屋崇文氏

<https://youtu.be/9iifMiU3th8>





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から
6月7日放送分

「第38回おくちの健康展」開催」

広島市歯科医師会 豊田育星氏

11日(日)午前10時から午後4時まで、そごう広島店(広島市中区)の本館屋上で「第38回おくちの健康展」を開催します。入場無料。出展ブースを回って、歯とお口の健康を楽しく学べるイベントです。「それいけ!アンパンマン」ショーもやって来ます。歯科医師の豊田育星さんが紹介します。

6月21日放送分

「子どもの歯並びいつ治す？」

広島市歯科医師会 土江雄治朗氏

歯並びが悪いと、見た目やかみ合わせの問題だけでなく、発音するのが難しくなったり、顎の発育に悪影響を与えたりします。では、歯並びはいつから治療を始めるのがいいのでしょうか。矯正治療の開始時期や、歯並びに影響を及ぼす指しゃぶり、寝る時の体勢などの習癖について、歯科医師の土江雄治朗さんが話します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント
友達募集中!



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

- 1月26日配信 広島県より「令和4年度広島県原油価格・物価高騰に係る医療事業者補助金」が支給になります(要申請)
- 1月31日配信 医療機能情報提供制度に係る令和4年度の定期報告をお願いします
- 3月20日配信 新型コロナウイルス感染症の分類変更に伴う対応について(県歯会からの周知依頼)
- 4月22日配信 広島県健康福祉局医療介護基盤課から、医療機能情報の全国統一システム移行に伴うG-MISアカウントの登録申請について(周知依頼)
- 5月21日配信 PMDA(医薬品医療機器総合機構)よりお知らせ
薬用歯みがき類「チェック・アップコドモA」の使用後に発現したアナフィラキシーについて
- 5月27日配信 広島東洋カープ観戦の集い~~申込再案内~~

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2023年5月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2023年5月1日～5月31日)

世界・日本での経過	2023年	広島市歯科医師会での対応
アメリカ 入国時のワクチン接種証明 5月11日から不要に 国内累計感染者数 33,725,765人 世界累計感染者数 765,222,932人(WHO発表)	5月1日	
新型コロナワクチン接種後の抗体減少程度 高精度で予測 慶応大	5月2日	
岸田首相 “G7サミット グローバル・サウスとの連携強化を図る”	5月4日	
WHO 新型コロナ「緊急事態宣言」終了を発表 “今後も警戒を”	5月5日	
Jリーグ 感染対策ガイドライン廃止へ 新型コロナ5類移行受け	5月7日	
新型コロナ5類移行 松野官房長官 “終了宣言 出す考えはない”	5月8日	
衆院本会議 約3年ぶり全議員出席し質疑 コロナ5類で制限解除 国内累計感染者数 33,803,572人 世界累計感染者数 765,903,278人(WHO発表)	5月9日	
“オミクロン株「BA.5」系統 高熱では増殖しにくい” 東大など	5月10日	
“コロナ感染状況落ち着いた” アメリカ 国家非常事態宣言解除	5月11日	
G7 保健相会合 きょう長崎市で開幕 新たな感染症対策など議論	5月13日	
G7 保健相会合 “感染症流行備えワクチンが行き渡る取り組みを”	5月14日	
大手旅行会社の過大請求問題 全国旅行会社に調査指示 観光庁	5月17日	
G7 首脳、平和記念公園で原爆慰霊碑に献花 広島サミット 新型コロナ 初の「定点把握」による全国の感染状況 厚労省発表 ゼレンスキー大統領 G7サミット対面で出席と報道 欧米メディア	5月19日	
	5月22日	三役会
	5月24日	コロナ感染対策特別委員会 定例理事会
新型コロナ 緩やかな増加傾向続く 医療機関の平均患者数 3.56人	5月26日	
中国でコロナ再拡大、「二陽」に関心高まる 6月末に第2波ピークか	5月27日	
「国立健康危機管理研究機構」創設 参院本会議で可決・成立 世界累計感染者数 767,364,883人(WHO発表)	5月31日	

集計元情報：厚生労働省、各自治体、新聞テレビ報道各社 ※以前のものは前号参照

その時点でのニュースの見出しを抜き出しておりますので、表記にばらつきがあることご了承ください。

国内累計感染者数は厚生労働省発表、世界累計感染者数はWHO発表によるものです。

国内感染者数は5類移行後、「定点把握」に変更されたため、厚生労働省ホームページでご確認ください。新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00432.html



5月定例理事会報告

「部外報告」

- 4月27日 国保組合理事会
- 5月1日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 5月11日 (県歯)会員サポート室会議
- 5月16日 令和5年度広島市学校保健会総会及び第1回理事会
- 5月18日 (県歯)歯科医療保険連絡協議会準備委員会
- 5月18-23日 社会保険診療報酬支払基金審査
- 5月19日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 5月20-23日 広島県国保連合会歯科審査部会

(連盟関係)

「総務関係」

- 5月2日 おくちの健康展についてアトラクトワンの協議
- 5月22日 広島市歯科医師会会計監査・予算説明三役会
- 5月23日 おくちの健康展第2回代表者会議
- 5月24日 定例理事会

(慶弔関係)

- 4月25日 中区支部 住田彰弘先生ご逝去
- 5月8日 東区支部 岡本芳明先生ご尊父様ご逝去

(入会退会関係)

- 4月27日 西区支部 井口早織先生入会
- 5月2日 中区支部 河村道彦先生入会
- 5月12日 入会後面談(井口早織先生)
- 5月12日 入会後面談(河村道彦先生)

(県歯理事会関係)

- 5月11日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 5月1日 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 5月2日 休診レセプト点検
- 5月10日 (県歯)保険部常任委員会
- 5月12日 入会後面談(井口早織先生)
- 5月12日 入会後面談(河村道彦先生)
- 5月17日 定例委員会
- 5月23-28日 社会保険診療報酬支払基金審査

(2) 学術部 (花岡理事)

- 5月12日 定例委員会
- 5月23日 おくちの健康展第2回代表者会議

(3) 厚生部 (谷理事)

- 5月30日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 5月15日 学校歯科嘱託医への対応
- 5月23日 おくちの健康展第2回代表者会議

<地域保健> (若林理事)

- 4月28日 令和5年度第1回広島市障害者施策推進協議会
- 5月2日 おくちの健康展についてアトラクトワンの協議
- 5月12日 中区介護認定審査会研修会
- 5月17日 (県歯)地域保健部常任委員会

<地域連携> (藤田理事)

- 5月1日 第2回地域ケアマネジメント会議マニユアル作成検討委員会
- 5月11日 中広地域包括支援センター主催認知症カフェ講演

<学校保健> (石田理事)

- 5月16日 令和5年度広島市学校保健会総会及び第1回理事会

(5) 広報部 (水内理事)

- 5月1日 校正委員会(だより5月号)
- 5月8日 FMちゅーピー収録
- 5月19日 【Web】情報調査委員会
- 5月23日 おくちの健康展第2回代表者会議

FMちゅーピー (放送日)

- 6月7日 「『第38回おくちの健康展』開催」
広島市歯科医師会 豊田育星氏
- 6月21日 「子どもの歯並びいつ治す？」
広島市歯科医師会 土江雄治朗氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
- 一般サイト 訪問者 2,363 (累計 124,340)
- ページビュー 11,618 (累計 1,489,031)
- 会員サイト 訪問者 171 (累計 29,286)
- ページビュー 843 (累計 284,661)
- 広報部…Talking Heads<最新情報>
掲載件数99件(4/21~5/20)
- LINE公式アカウント 登録者数
5月20日 126名

(7) 特別委員会

- 5月24日 コロナ感染対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 5月1日 相談 自費診療の返金について
(40歳代女性)
- 5月10日 苦情 診療拒否について
(後期高齢者男性)

「協議事項」

- (1) 入会について (4名)
中区支部の前野大輔氏の入会について承認、中区支部2名、南区支部1名継続審議中
- (2) 会費について (5名)
終身会員資格取得による会費額変更について1名承認。診療形態の変更による会費額変更について4名承認。
- (3) 令和5年度広島市歯科医師会保険講習会について
内容説明、継続審議
- (4) 共催について
内容協議、決定
- (5) B型肝炎ワクチン接種事業について
内容説明、報告
- (6) カーブ観戦の集いについて
内容説明、再案内について検討
- (7) 令和5年度本会会費賦課額並びにその徴収方法につ

いて

- 修正点協議、決定
- (8) 広島市歯科医師会役員選任について
内容承認
- (9) 広島市歯科医師会会長・副会長・専務理事の選定について
内容承認
- (10) 第116回定時総会について
総会進行内容の確認
- (11) 次期総会議長・副議長の選任について
森田薫氏、伊達弘恵氏 承認
- (12) その他
特になし

「その他」

特になし

職員挨拶

新任挨拶



西森亜由美

5月より職員として勤務させていただいております西森亜由美と申します。
この仕事を通して先生方のお役に立ち、より多くの市民の皆様の健康をサポートできるよう、心を込めて業務に取り組みたいと思います。どうぞよろしく
お願い致します。

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hirosima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月 25 日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

